

令和6年度 茨城県高等学校新人ヨット大会

日 程：2024年11月4日（月）

競技種目：男子420級 女子420級 男子ILCA6級 女子ILCA6級

男子コンバインド 女子コンバインド

開催地：茨城県土浦市ラクスマリーナ

大会組織

主 催：茨城県高等学校体育連盟 茨城県教育委員会 茨城県セーリング連盟

主 管：茨城県高等学校体育連盟ヨット専門部

帆走指示書（SAILING INSTRUCTIONS）

1. 規則

- 1.1 本レガッタは、セーリング競技規則2021-2024（以下規則）、クラスルール、レース公示（以下NOR）、このSAILING INSTRUCTIONS（以下SI）およびクラスルールを適用する。
- 1.2 SIはNORよりも優先する。これは規則63.7を変更している。
- 1.3 【DP】は、プロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する規則を意味する。
- 1.4 【SP】はレース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。これは規則63.1および付則A5、A10を変更している。
- 1.5 【NP】は、この規則に違反する艇による抗議の根拠にならないことを意味する。これは規則60.1(a)を変更している。
- 1.6 公益財団法人全国高等学校体育連盟「競技者及び指導者規定」を適用する。
- 1.7 艇は自らの安全のためにマスト・トップに浮力体を取り付けることができる。420級については、規則87および420クラス規則A.8.2に基づき、420クラス規則のC.5.1aに以下の文を追加する。「自らの安全のために、マスト・トップに揚力を起こさない形状の浮力体の取付を認める。」

2. SIの変更

SIの変更は、それが発効する当日の当該クラス予告信号予定時刻の60分前までに掲示される
但し、ブリーフィングにおいて帆走指示書の変更が出た場合はこの限りではない。

3. 選手とのコミュニケーション

- 3.1 競技者への通告は、公式掲示板もしくは口頭により通告される。全員に周知できるよう努めるが、伝達不足による不利益は抗議要件とはならない。
- 3.2 【DP】レース中緊急の場合を除き、艇は音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。

4. [DP]行動規範

競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

5. 陸上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は、ラクスマリーナの掲揚ポールに掲揚、もしくは口頭により伝達される。
- 5.2 【DP】 【NP】 D旗もしくは口頭により出艇が許可された場合、「予告信号は出艇許可後 30 分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで出艇してはならない。
- 5.3 SI6.1に示した個別のレースに対して回答旗を掲揚しない。D旗を掲揚しない場合、そのレースのスタートは時間の定めなく延期している。

6. スケジュール

6.1 レース日程

Date	Time	Event
2024/11/4(月)	8:30	レジストレーション
	8:45	開会式、ブリーフィング
	9:30	第1レース予告信号時間 引き続きレース
	16:00	表彰式・閉会式

- 6.2 1日に行う最大レース数は4レースとする。
- 6.3 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に、音響信号1声とともにオレンジ色のスタートライン旗を掲揚する。
- 6.4 上記のスケジュールは、レース委員会の裁量により変更されることがある。
- 6.6 15:00 以降に予告信号は発しない。

7. クラス旗

クラス旗は以下の通りとする。

Class	Class Insignia
420 クラス	白地に赤文字の 420 旗
ILCA6 クラス	白地に赤文字の ILCA 旗

8. レースエリア

- 8.1 レースエリアのおおよその位置は、SI添付図1に示す通りである。
- 8.2 添付図1通りのレースエリアとならなくても、艇からの救済要求の根拠とはならない。これは規則62.1 (a) を変更している。

9. コース

- 9.1 SI添付図2のコース図は、各レグの概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 9.2 各クラスの予告信号以前に、レース委員会の信号船に帆走するコースおよび最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

10. マーク

マークは以下の通りとする。

Start Line Mark	Mark 1, 2, 3, 4	New Mark	Finishing Line Mark
レース委員会船 黄色円筒ブイ	黄色の 円筒型ブイ	赤色の 円筒型ブイ	黄色円筒型 ブイ

11. スタート

- 11.1 各種目ともに男女同時スタートとする。
- 11.2 スタート・ラインは、スターボードの端にあるレース委員会船のオレンジ旗を掲揚しているポールと、黄色円筒型ブイの間とする。
- 11.3 【DP】他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタートラインから概ね100m以内の範囲とコースサイドから離れていなければならない。
- 11.4 スタート信号の4分以内にスタートしない艇は、審問なしに「スタートしなかった (DNS)」と記録される。これは規則A5.1およびA5.2を変更している。

11.5 規則30.4（黒色旗規則）に以下を変更、および追加して適用する。

ブラック適用でゼネラルリコール信号が発せられた場合、セール番号をスタート信号艇に掲示する。セール番号掲示の際は長音が発せられる。セール番号が掲示された艇は、新しい準備信号までにSI11.3に示される、スターティングエリアを離れること。従わない場合、その艇は審問なしにDNEと記録される。

12. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、(a)新しいマークを設置するか、(b)フィニッシュ・ラインを動かすか、(c)風下ゲートを動かす。また、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

13. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、レース委員会船の青色旗を掲揚しているポールと黄色円筒型ブイの間とする。

14. ペナルティー方式

- 14.1 付則 P および付則 T を適用する。付則 T を適用する。『レース後ペナルティー』を履行した艇は、得点略語「PRP」を用いて記録される。これは、規則 10 を変更している。
- 14.2 付則 P2.3 は適用されず、付則 P2.2 を変更し、2 回目以降のペナルティーに適用される。

15. タイムリミットとターゲットタイム

15.1 マーク1のタイムリミット、レースタイム（規則 35 参照）および、フィニッシュ・ウィンドウターゲットタイムは以下の通りとする。

Mark1 Time Limit	Time Limit	Finish Window	Target Time
20 分	60 分	10 分	35 分～40 分

- 15.2 マーク1のタイムリミット内に 1 艇も最初のマークを通過しそうにない場合、レースは中止される。
- 15.3 規則28に基づき、規則30.3、規則30.4に違反しないでスタートした最初の艇のフィニッシュ後10分以内にフィニッシュしない艇は「フィニッシュしなかった（DNF）」と記録される。これは規則35 及び、付則A4、A5、A10を変更している。
- 15.4 ターゲットタイム通りに ならなくても艇の救済要求の根拠とはならない。これは規則 62.1(a)を変更している。

16. 審問要求

- 16.1 抗議締切時刻はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から80分とする。時刻は公式掲示板に掲示される。
- 16.2 審問要求の様式は、事前に以下のURLよりダウンロードするか陸上本部にて入手できる。
【日本セーリング連盟 ルール委員会】
<https://www.jsaf.or.jp/hp/about/committee/rule/rule-form>
- 16.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に知らせるために、抗議締切時刻後15分以内に通告する。審問はラクスマリーナ内にて実施される。
- 16.4 裁量ペナルティーの対象となる規則に違反した艇は、その違反に関する審問より前に、レース委員会にて入手できるペナルティー報告に自ら違反したことを記入して提出することで、規則64.6に基づく報告を行うことができる。
- 16.5 【SP】と表記された規則違反のペナルティーは、公式掲示板に掲示される。SI14.1付則Pに基づき規則42違反に対するペナルティーを課された艇のリストは掲示される。

17. 得点

- 17.1 本大会は付則Aを適用する。
- 17.2 シリーズが成立するためには、1レースを完了することを必要とする。
- 17.3 艇のシリーズのレースの得点の合計で順位を決定する。
- 17.4 得点は男子、女子、個別に計算される。
- 17.5 SI1.4に従ってペナルティーを課した艇に対して、標準ペナルティーガイドラインに従って得点を記録し、成績表には「STD」と表示する。ただし、そのレースの「DNF」の得点より悪くなることはない。これは規則63.1、付則A5.1を変更している。なお、引き続きレースが行われた場合、SI18.2のチェックアウトの誤りについては、出艇後最初のレースに、チェックインの誤りについては、その当日の帰着直前のレースにペナルティーを課す。

18. 【DP】【NP】安全規定

- 18.1 【SP】チェックアウト、チェックイン
本大会はレース委員会が用意する書面を用いてチェックイン、チェックアウトを行う。チェックイン、チェックアウトの実施場所は陸上本部とする。
- 18.1.1 レースに参加しようとする競技者は、レース委員会が用意する所定の様式に記入し、チェックアウトを行うこと。出艇申告は出艇が許可された15分後まで受付ける。

- 18.1.2 帰着した艇の艇長は、帰着後速やかに、また、その日の最終レース終了後または、これ以上のレースを実施しないという信号を発した後、どちらか遅い方から80分以内にチェックインを行うこと。ただし、レース委員会の裁量により、この時間を延長することがある。
- 18.1.3 海上でリタイアしハーバーへ帰着する艇は、可能な限りレースエリアを離れる前にレース委員会にその旨を伝えること。また、帰着後速やかにレース委員会に伝えなければならない。
- 18.1.4 一度ハーバーに帰着した艇（SI 18.1.3）が再度レースに参加しようとする（出艇）場合は、再度チェックアウトを実施すること。
- 18.2 レース中でない艇は、レース中の艇から離れていなければならない。
- 18.3 乗員は離岸から着岸までの間、十分な浮力を持つライフジャケットを着用していなければならない。ただし衣服の着脱に携わる短時間の場合を除く。これは規則 40 を変更している。ウェットスーツ、ドライスーツは個人用浮揚用具ではない。
- 18.4 レース艇が救助を求める場合は、救助する船に対して「片手を高く上げ左右に振って」合図を送ること。
- 18.5 レース委員会またはプロテスト委員会は、危険な状態あると判断したレース艇に対してリタイアを勧告する。また、緊急救助を要すると判断した場合には、競技者の意思に拘わらず強制的に救助できる。救助されたことによる艇からの救済要求は認めない。これは規則 62.1 (a) を変更している。
- 18.6 曳航ロープ
 - 18.6.1 420 クラスは、420 クラス規則の通りとする。
 - 18.6.2 ILCA6 クラスは長 5m 以上、直径 6mm 以上の曳航ロープをバウアイに取り付けておかなければならない。

21. 【NP】【DP】装備と計測のチェック

- 20.1 艇、装備および衣類がクラス規則と SI に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。
- 20.2 損傷または紛失した装備の修理または交換は、テクニカル委員会の承諾なしでは許可されない。修理または交換の要請は、最初の妥当な機会に陸上本部で入手できる書式に記入のうえ、テクニカル委員会に提出しなければならない。

22. レース委員会艇の識別

運営艇の標識は以下の通りとする。

Boat	Flag Description
レース委員会	白色旗
プロテスト委員会	緑色旗

24. [DP][NP]ゴミの処分

ゴミを故意に投棄してはならない。ゴミをレース委員会船に渡してもよい。また、競技者は飲料水、食料、衣料等の荷物を一時的にレース委員会船に渡してもよい。ただし、レース中にレース委員会船との荷物の受け渡しを行ってはならない。

25. [DP][NP]無線通信

レース艇は水上にいる間は、無線送信ならびにすべての艇が利用できない無線通信の受信をしてはならない。また、この制限は携帯電話にも適用される。

25. 賞

実施要項の通り賞状を授与する。

26. リスクステートメント

規則3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。主催団体は大会の前後、期間中に生じた物理的損害、または身体の障害もしくは死亡について、いかなる責任を負わない。

27. セールへの表示

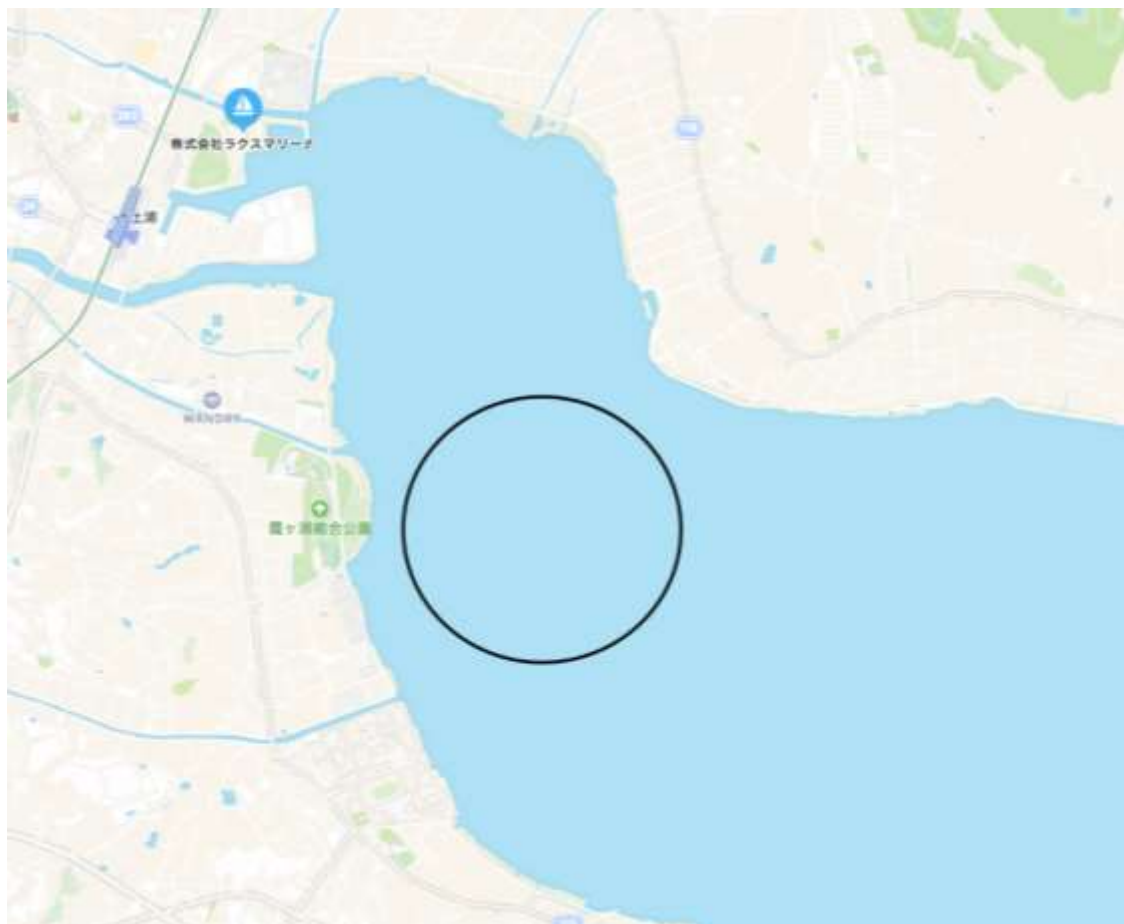
27.1 艇は規則でセールに表示することが認められているもの以外は表示してはならない。

ただし、全国高校総体で使用した学校名シールおよび識別マーク、国民スポーツ大会で使用した都道府県名およびリコール番号、国際大会で使用した国旗シールは剥がす必要はない。

27.2 全国高体連「競技者・指導者規定」を準用し、企業広告・個人広告、その他マークや記章の表示は認めない。

27.3 420 クラスルール、ILCA クラスルールに則り、女子種目で使用するセールには赤い菱形のマークを表示すること。

添付図 1 レースエリア



添付図 2 コース図

